



支出伝票

		代表者印 	経理責任者印 
会派名	みらい創造	伝票番号	1
会計年度	平成30年度	平成30年04月05日	
支出年月日	平成30年04月05日		
項目	広報広聴費		
支出金額 (按分する場合)	158,760		円
内容 (使途)	活動報告4月号(新聞折り込み35,000枚、A4チラシ印刷3,000枚)		
支出先	ST総合広告		
備考			

【領収書等貼付欄】

- 領収書等はこの欄に重ならないように貼付すること。
- この支出伝票に入らない場合は、別紙の領収書等貼付用紙に貼付すること。
- A4以上の大きさを貼付するのが適当でない書類はそのまま添付すること。

領収証

堀川 かつみ子 様

No. _____

30年4月5日

金額

¥158,760

但し活動報告4月号折り込み35000枚 A4チラシ4枚両面 DMチラシ3000枚
上記の金額正に領収いたしました



内訳
 振替金額 147,060
 消費税額等(8%) 11,700

企画・制作/印刷/Web
ST総合広告

T584-0081 大阪府富田林町田中4-11-37-907
 Tel 0721-29-9887 Fax 0721-29-1359
 T589-0006 大阪府大阪市東淀川区2丁目8-10
 Tel 072-368-1227 Fax 072-368-1228



堀川かずひろ活動報告

河内長野市議会議員

平成30年4月号

美加の台 地域版

E-mail:run@kawachinagano-run.jp
http://www.kawachinagano-run.jp/

美加の台の将来について、柘井副市長と住民とで意見交換!!



(議会事務局での柘井副市長と私)

後援会の新春の集いの折、ご参加いただいた美加の台の方々と、柘井副市長が意見交換し、美加の台の将来について話し合う場が欲しいということになり、私が段取りをさせていただき、2月8日(木)午前10時から2時間、副市長応接室で行われました。私は立场上参加をご遠慮いたしましたが、後で話の内容はお聞かせいただきました。市側からは、柘井副市長と都市創生課の職員が同席し、美加の台の皆様は老人会の方、福祉委員会の方など、7名が参加されました。

今回は要請や陳情ではなく、美加の台の将来についてどのようにしていくべきかというテーマについて自由に話し合い、意見を交換されたようです。

以下のお聞きしたご意見をご紹介します。

- ① 建築協定が厳しく、スーパーはやしの近くのうどん屋さんがなくなってから、食事をするところもない。もっと自由にお店とかができないものか？
- ② 美加の台小学校内に、コミュニティルーム「さくら」ができたが、学校内の施設なので制約が多い、もっと自由に使える、清見台のくすのかホールのようなコミュニティセンターが必要である。
- ③ 近所の女性高齢者が集まる、「おばあちゃんカフェ」的なものがないか。
- ④ 「遠くの親戚より、近くの人」というが、美加の台では難しい、どうすればもっとコミュニケーションがとれるのだろう。
- ⑤ 建築協定があるから街並みが美しく保たれているのだが、逆にそれが高齢化に伴い、近くで買い物やお茶をする場所がなく、人との触れ合いに欠ける要素になっている。

他にもたくさん意見があったようですが、聞き及んだところを抜粋してみました。

今のところ美加の台の高齢化は進んではいますが、市全体の32パーセントよりは27パーセントと低く、今後高くなっていくことにどう対応するかが課題です。

それを見越して、今回の意見交換会などを参考に、自助・共助・公助の内、共助の部分をいかに進めていくか、地域に根差した議員として取り組んでいきたいと考えています。

河内長野市議会議員(みらい創造)

堀川かずひろ

福祉と教育に全力



プロフィール 昭和33年10月19日生

- ・浪速高等学校卒業
- ・中京大学体育学部卒業
- ・元高等学校保健体育科教諭
- ・元河内長野ランニングクラブ会長
- ・元河内長野市青少年指導員連絡協議会会員
- ・ランニング学会会員
- ・元美加の台中学校PTA会長
- ・日本自治創造学会会員

堀川かずひろ

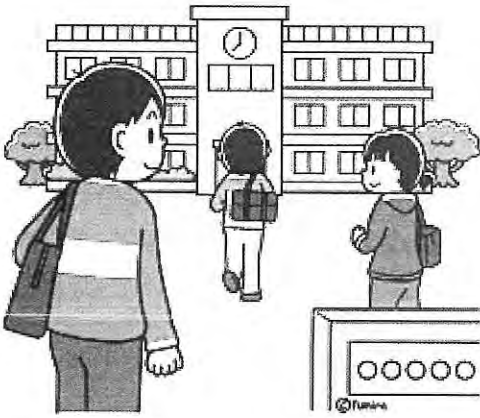
検閲

美加の台中一貫教育をさらに進めて義務教育学校に!!

美加の台中学校は、全国で屈指の学力レベルを誇ります。それは教育環境だけではなく、家庭環境や住環境も影響していると思いますが、さらに小中一貫教育によって磨きがかかったのだと考えます。

しかし小中一貫教育といっても、小中にそれぞれ校長先生がいて、船頭が二人いるので、本当の意味では9年一貫した教育は難しいと言えます。

私は早期に義務教育学校(校長先生一人の元、9年一貫のカリキュラムで教育を行う学校)に再編し、同一施設で行うことがさらなるレベルアップにつながり、教育の街美加の台と言われるようになることが、子育て世代の皆様への転入促進の大きな要素となると思っています。児童生徒が少なくなり、同一施設での収容が可能になりつつある中、教育長ともその方向で話し合いを進めています。



地域のご要望をできるだけ実現したい(一例)!!



アーバン式番館横の階段溝改修



4丁目のイノシシ除けフェンス



美加の橋と道路との段差解消



枯れた植え込みの植え替え



第一公園の駐車場増設



団地内の再舗装

※財政難の現在、なかなか皆様のご要望に応えられませんが、こつこつ頑張っています。